

1980年7月17日志染中，ハンノ木をゆすると落ちてきた。小倉。

81. *Pseudaolesthes chrysothrix* (Bates) キマダラヤマカミキリ

1980年5月14日志染中，クヌギの枯木を割って，小倉。

82. *Marthaleptura scotodes* (Bates) ツヤケシハナカミキリ

1980年6月7日口吉川，ガマズミの花で。小倉。

83. *Exocentrus testudineus* Matsushita キッコウモンケシカミキリ

1980年7月4日いわや，枯えだのたたきあみで。小倉

84. *Atimia okayamensis* Hayashi ケブカマルクビカミキリ

1979年4月3日朝日丘で三木進氏，4日興治にて小倉。

以上で84種になり平地では多いほうで，今後の調査がたのしみです。

## タケウチヒゲナガコバネ赤西に産す

小 倉 滋

1979年5月22日赤西(波賀町)の国有林でカエデの花をスリーピングしているとコボトケヒゲナガコバネより大型で激しくうごき回るコバネを見つけた。採集記録のなかでも数少ないコバネなのでこおどりして持ち帰り同定しようと顕微鏡をのぞきビックリした。何回見ても他の標本と形が異なり，タケウチヒゲナガコバネに似ている。同定にあまり自信がないので文献でしらべて見ると，タケウチは四国，九州地方にしか住んでいないとのこと，私の標本がまゆつばに思えていよいよ自信がなく発表する勇気ももてずにいたが，一応タケウチとして期日と場所を記入後三木氏，遠山氏に同定を願ってもタケウチらしいとのこと，ついに遠山氏が上京の際持参して頂き同定を受けた結果まさしくタケウチコバネとのことであった。従ってこゝに報告させて頂く次第です。

また私が1980年度県内で採集した主な種をあわせて報告しておきます。

赤西：タカオメダカ(5月4日)，コボトケヒゲナガコバネ(5月4日)，ヤマトキモンハナ(5月27日)，トワダムモンカミキリ(6月1日)，ヤマトチビコバネ(6月4日)，トウキョウキモン(6月12日材より羽化)，コジマベニスジ(7月27日)，フタコブルリハナ(5月17日)。

坂ノ谷：7月27日，ヒゲシロホソコバネ，トビイロカミキリ，クリイロシラホシ，シラホシキクスイ。

関宮町福定：8月7日，イツシキキモン，ムネホシシロ，キバネアラゲ。

以 上